

## 研修プログラム：小中学生の日本語教育・指導のためのオンライン研修

### 「幼・小・中・高の学びの連続性を保障することばの教育」(全3回)

#### 第2回 探究する力・自律的に学ぶ力を高める日本語と教科の統合学習

#### 1 研修のねらい —3回の研修を通じて

多様な言語的文化的背景をもつ子どものことばの教育では、心身の成長発達や子どもたちを取り巻く環境をふまえながら、来日初期から子どもたちが自分らしく、もてる力を十全に伸ばしながら成長するための教育を実現することが重要です。本研修は、初めて日本語指導を担当することになった教師や支援活動を始めた支援者を主な受講者（対象）として構成してあります。ねらいとして、幼・小・中・高の各教育段階で子どもの発達の状況に応じた教育内容・方法について学び、長期的な視点で校種間の学びの連続性を保障する教育・支援について知り、日本語教育・指導を実施するための具体的なイメージをつくることを目指します。具体的には、学校でのスムーズな受け入れとその体制づくり、文化的な適応や地域支援との関わり、初期段階のコミュニケーションから教科学習、そして自己実現のための日本語の力の育成を目指す日本語教育・指導を取り上げます。事前課題である、動画視聴と講義を通じて、その考え方について知り、実践事例の報告により実施方法について理解を深めます。さらに、ワークショップ型の活動を通して、明日からの指導・支援に生かせるよう、理解を実践のアイデアとして具体化します。3回のオンライン研修のテーマは以下の通りです。

#### <第1～3回研修のテーマ>

回	テーマ
第1回	子どもの持てる力と経験を新たな学びにつなぐ～初期支援と活動のアイデア～
第2回	探究する力・自律的に学ぶ力を高める日本語と教科の統合学習
第3回	アイデンティティと関係づくりを支える ～ことばの教育実践を通じて～

なお、参加にあたっては、本ユニットが作成した動画（参加者限定公開）の事前視聴による事前学習を課します。

#### 2 第2回のプログラム

##### 「探究する力・自律的に学ぶ力を高める日本語と教科の統合学習」

##### (1) 概要

時間	150分（2時間30分）
主たる受講者（対象）	「今年、初めて」、「まだ、経験は数年」という日本語指導・支援に携わる学校教員・支援員・支援者の方
テーマ	「探究する力・自律的に学ぶ力を高める日本語と教科の統合学習」

ねらいとする 資質・能力*	<p>&lt;育む力&gt;</p> <p>コ 第二言語習得や教育方法に関する知識を踏まえ、子どもの年齢的な発達の違いを考慮した日本語や教科の指導・支援をすることができる。</p> <p>サ 日本語に関する知識を生かして、子どもの日本語の力に合わせた日本語や教科の指導・支援をすることができる。</p> <p>ス 子どもの日本語の力を考慮して教材等を選んだり作成したりしてリソースを準備し、学習参加を促すことができる。</p> <p>セ 学校内外の生活・学習に結び付けて、日本語や教科の指導・支援、内容（教科等）と日本語を統合した指導・支援をすることができる。</p>
研修内容	<p>1 講義 子どもへの日本語教育について、第二言語習得や学習言語能力と生活言語能力の違い等の基礎的事項を踏まえた上で、成長段階に応じた子どもの探究する力や学ぶ力を高める「日本語と教科の統合学習」、「JSLカリキュラム」（トピック型と教科志向型）の授業づくりの基本的考え方を学ぶ。</p> <p>2 事例報告（日本語指導を実施している小中学校の担当者による）から、受入れ時に考慮すべき点や日本語指導の具体について学ぶ。</p> <p>3 グループワーク ①2つの事例報告から新たに学べたこと・参考にしたいと思ったこと ②日本語と教科の統合学習について、まだよく分からないことや疑問を共有し、理解を深める。</p>
事前課題	<p>参加に当たっては、事前に次の研修用動画の視聴を求める。研修は、以下を視聴済みであることを前提として構成してある。</p> <p>東京学芸大学先端教育人材育成推進機構外国人児童生徒教育推進ユニット（2025）『初めて教える人のための 田中先生と学ぶ子どもの日本語指導』講座3 子どもたちの日本語教育      パート3 「日本語のコース設計」      パート5 「母語と第二言語の関係」      パート7 「学習言語能力をのばすために」      講座5 教科学習への参加を促す教育の実際      パート1 「JSLカリキュラム」（日本語と教科の統合学習）</p>

※公益社団法人日本語教育学会（2020）『文部科学省委託事業（2017-2019年度）「外国人児童生徒等教育を担う教員の養成・研修モデルプログラム開発事業」外国人児童生徒等教育を担う教員の養成・研修のための「モデルプログラム」ガイドブック』の「豆の木モデル」にもとづく（ウェブサイト [URL:https://mo-mo-pro.com/report](https://mo-mo-pro.com/report)）

## （2）実施計画

展開	具体的な内容・活動	資料・参考文献等
1 説明「研修テーマ、趣旨、目標」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本研修の趣旨</li> <li>・ねらいとする資質・能力</li> <li>・研修終了後の振り返りの実施</li> </ul>	研修趣旨のスライド資料
2 講義「成長段階に応じた学ぶ力を高める日本語と教科の統合学習」 ①子どもの日本語教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが日本語を学ぶということ</li> </ul>	講師作成スライド

<p>の考え方</p> <p>②日本語と教科の統合学習（文部科学省開発「JSLカリキュラム」）」</p> <p>③授業づくりのポイント</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもに対する日本語の教え方</li> <li>・年齢による学び方・教え方の違い</li> <li>・子どもの言語習得－母語と第二言語の関係</li> <li>・生活言語能力と学習言語能力</li> <li>・日本語と教科の統合学習の必要性と考え方</li> <li>・「JSLカリキュラム」の開発・目的・特徴・実施時期・在籍学級の学習との関係</li> <li>・トピック型 JSL カリキュラム</li> <li>・教科志向型 JSL カリキュラム</li> <li>・授業づくりの手続き</li> <li>・日本語の目標の設定</li> <li>・日本語支援 5 つの視点</li> <li>・子どもの実態に合わせて</li> <li>・探究型の学習活動を通して</li> <li>・基本構造「内容理解」から「日本語で表現」へ</li> </ul>	<p>本ユニット（2024）／齋藤（2011）／文部科学省（2019）／中島（2016）</p> <p>文部科学省（2003）／文部科学省（2007）</p> <p>東京学芸大学国際教育センター（2022）</p>
<p>3 事例報告 日本語と教科の統合学習</p>	<p>報告：日本語学級や初期集中教室の担当教員に、日本語教育・指導の事例を紹介いただく</p> <p>質疑応答： 口頭で・チャットへ書き込みで</p>	<p>事例報告者作成スライド（「(3)資料」として、2025年度研修報告事例を参照のこと。）</p>
<p>4 グループワーク</p>	<p>統合学習「JSLカリキュラム」の実践事例について</p> <p>①グループ（4人前後）で話し合い</p> <p>②全体で、グループでの話し合いの共有。疑問点への講師からの返答</p>	<p>&lt;グループワーク課題&gt; 実践事例について話し合う</p> <p>①事例報告から学べたこと・参考にしたいと思ったこと</p> <p>②日本語と教科の統合学習について、よく分からないことや疑問点</p>
<p>5 振り返り</p>	<p>アンケート記入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・満足度</li> <li>・今後の活用のアイデア</li> <li>・資質・能力の向上の有無</li> </ul>	

参考文献・資料

- ・東京学芸大学国際教育センター（2022）『日本語指導が必要な子どもによりそうために』今澤悌「第2章 JSL カリキュラムの授業づくり」
- ・齋藤ひろみ他（2011）『外国人児童生徒のための支援ガイドブック』凡人社
- ・東京学芸大学先端教育人材育成推進機構外国人児童生徒教育推進ユニット（2024）『【研修用動画】初めて教える人のための 田中先生と学ぶ 子どもの日本語指導』
- ・中島和子（2016）『バイリンガル教育の方法 完全改訂版』アルク
- ・文部科学省初等中等教育局国際教育課（2003）『学校における JSL カリキュラムの開発について（最終報告）』
- ・文部科学省初等中等教育局国際教育課（2007）『学校教育における JSL カリキュラム（中学校編）開発最終報告書』
- ・文部科学省（2019）『外国人児童生徒の受入れの手引き（改訂版）』

(3) 資料（ダウンロード可能）

① [趣旨説明・講義資料](#) [見世千賀子](#) [東京学芸大学](#)

② 事例報告（参考）：本ユニットによる 2025 年度研修でご報告いただいた資料

[報告資料](#) [目黒区立東根小学校日本語国際学級](#) [田中寛子](#)

[報告資料](#) [浜松市立浜北北部中学校初期日本語指導拠点校にじ「浜北教室」](#) [佐々木しのぶ](#)

③ 事前課題用研修動画

東京学芸大学先端教育人材育成推進機構外国人児童生徒教育推進ユニット（2025）『初めて教える人のための 田中先生と学ぶ子どもの日本語指導』

**本プログラム・資料の利用について**

教育・研修を目的とした利用に限ります。

資料としてご利用を希望する場合は、コンテンツの出典として「利用する資料等の作成者・執筆者」「利用する資料等が作成・公開された事業名」「コンテンツが示されているウェブサイトの URL」を明記して利用してください。

部分的な切り取りや加工をして利用することは禁じます。